

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

| | | | | |
|----------|----------|--------|-----|------|
| 仕事の内容 | 事務改善提案事務 | | | |
| 担当部署・課長名 | 行政管理 課 | 行政管理 係 | 課長名 | 木村 西 |

| | | | |
|-------------------------------|----------------|-------|---|
| この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。 | 施策番号 | 行 - 2 | - |
| 【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現 | 総合計画書 (ページ) | 122 | |

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|------|-----------|
| 予算名 | 款 2 | 総務費 | 項 1 | 総務管理費 | 目 7 | 企画費 | 事業 5 | 行政改革推進事業費 |
|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|------|-----------|

| | | |
|---------------------------|--|-------------------------|
| 1 この仕事の目的 | ① 誰(何)を対象にしていますか。 | ① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) |
| | ア 職員 イ 課 | ア 職員数 イ 課(局・園・館)の数 |
| | → | |
| ② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] | ② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) | |
| 改善意識を持ち、事務改善につながられている | ア 提案した職員(グループ含む)数 イ 提案した課の数 ウ 採用(一部採用含む)件数 | |
| → | | |
| ③ そのために何をしましたか。 | ③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) | |
| 事務改善提案の実施 | ア 提案受付回数 イ 提案件数 | |
| → | | |

| | | 単位 | 平成28年度実績 | 平成29年度実績 | 平成30年度実績 | 平成31年度目標 | 平成32年度目標 | |
|------------|------|-------|----------------------------------|-------------|-------------|-------------|----------|---|
| 2 指標の推移 | 対象指標 | ①の数値 | ア 人 475 イ 課 42 | 476 42 | 475 42 | / | / | |
| | 成果指標 | ②の数値 | ア 人 0 イ 課 8 ウ 件 3 | 1 9 2 | 7 9 4 | / | / | |
| | 目 標 | ②の目標値 | ア 人 1 イ 課 11 ウ 件 4 | 1 8 3 | 1 9 2 | 7 9 4 | / | / |
| | | | 目標値設定の考え方 前年度実績以上を目標とする。(0の場合は1) | | | | | |
| | 活動指標 | ③の数値 | ア 回 1 イ 件 14 | 2 13 | 1 16 | / | / | |

| | | | | | | | |
|---------|---------|--------------|---------|-----------|-----------|---------|---|
| 3 経費 | 事業費(実績) | | 円 | 520 | 116,566 | 120,087 | ※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。) |
| | 財源 | 一般財源 | 円 | 520 | 116,566 | 120,087 | |
| | | 特定財源 | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | | (うち受益者負担) | 円 | 0 | 0 | 0 | |
| | 人件費(目安) | 所要人数(再任用以外) | 人 | 0.1 | 0.2 | 0.1 | |
| | | 所要人数(再任用) | 人 | | | | |
| | | 職員人件費(再任用以外) | 円 | 826,700 | 1,650,600 | 824,400 | |
| 事業費+人件費 | | 円 | 827,220 | 1,767,166 | 944,487 | | |

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

| | | |
|-----------|--------------------------------|---|
| 4 環境変化 | この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 | 昭和56年4月に東大和市事務改善提案制度規程を制定。個人やグループ提案を募った。平成11年9月に更なる事務改善の推進を目的として東大和市1課1事務改善運動実施要項を制定し、期間を設定して課単位での提案を募った。平成30年4月に東大和市事務改善提案規程と東大和市1課1事務改善提案運動実施要領を統合し規程を一部改正した。 |
| | 開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 | 提案要件が明確化され、課提案、個人提案ともに随時できるようになった。 |
| | | |

| | | | | |
|-----------|----------|---|------|------------|
| 仕 事 の 内 容 | 事務改善提案事務 | | | |
| 担当部署・課長名 | 行政管理 | 課 | 行政管理 | 係 課長名 木村 西 |

| | | | |
|-------------|--|--|--|
| 5 市民等の意見 | この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について | | |
| | 特になし | | |

| | | | |
|-----------|--|------|--|
| 6 市民協働 | (1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可） | | |
| | 取組みは無い | 取組手法 | 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ） |
| | (2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 | | |

| | | | |
|---------|--|--|--|
| 7 課題 | (1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 提案課、採用件数が減少している。 提案の中に本制度によらず改善できるものも含まれている。 | | |
| | (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 規程を改正し、個人提案（グループ含む）、課提案の随時受付の明確化、審査委員会の審査票を改正した。 | | |
| | (3)(2)を踏まえた今後の課題 ・提案内容の精査 ・採用・一部採用提案における、その後の実施状況の確認（報告書の提出） | | |

| | | | |
|-------------|--|----|-------------|
| 8 今後の方向性 | (1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・提案内容に具体性がないものがあるため審査しづらい場合がある。費用対効果について概算の予算などを記入してもらうようにする。 ・一部採用提案の中には、どのように実施するということが具体的に示されておらず、担当課に一任されているため、実施内容、実施にかかる費用について実施前に担当課と調整する必要がある。 | | |
| | (2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 毎年6月に期間を定めて実施する事務改善提案募集の際には、提案票の具体的な記載例を添付して周知する。 | | |
| | (3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。 | | |
| 成果 | 成果を維持する。 | 経費 | 仕事の経費は維持する。 |